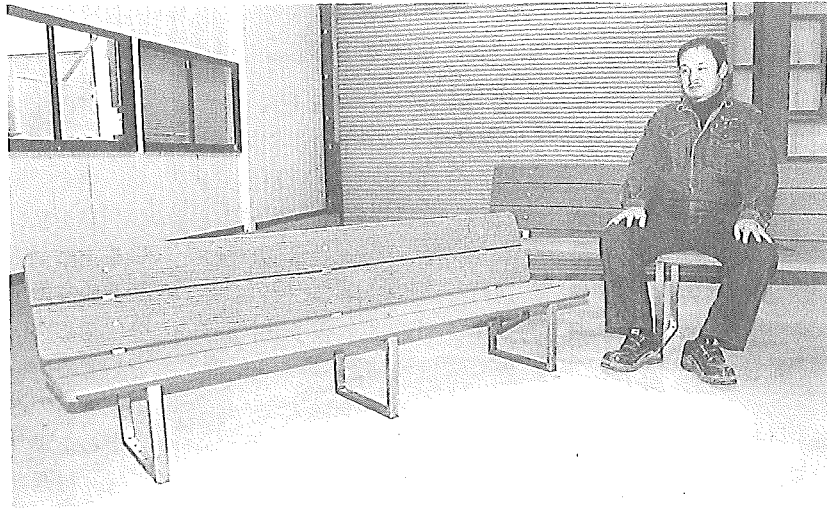


(有) S P 建材



人工木材、ステンレス融合

公園ベンチ耐久向上

SP建材(福井)が商品化

金属製品製造業のSP

建材(本社福井市田尻

谷町、高島弘茂社長)は、

人工木材とステンレスを

組み合わせた公園用のベ

ンチを商品化した。従来

品に比べ耐久性に優れ、

廃材や廃プラスチックを

リサイクルした人工木材

の活用で環境にも配慮し

.....

SP建材が人工木材と

ステンレスで製造した

公園用のベンチ

た。

同社によると、公園や

広場に設置してあるベン

チは座面や背もたれが天

然木、脚部は鉄やアルミ

の鋳物製が主流。腐食や

雨風によるさびなど、耐

久性、耐候性に課題があ

るといっ。

人工木材は天然木に比

べ強度で勝る上、メンテ

ナンスが容易。ステンレ

スはさびにくく、光沢が

あってデザイン性に優れ

ている。

価格は9万円(幅1・

8坪、高さ73・5センチ)。

人工木材は高価だが、独

自の仕入れルートを生か

し、価格を抑えた。20

14年1月からネット販

売するほか、自治体など

に売り込む。

同社は5年前から、高

島社長(39)が高校球児だ

った経験を生かし、地な

らしに使うアルミ製の

「トンボ」や、バッテリー

ボックスのラインを引く

定規など、グラウンド用

品の製造販売に力を入れ

ている。「トンボ」はネ

ットで年間1千本売れる

人気商品。今後もグラウ

ンドや公園用の商品を拡

充していく。